



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 関西ペイント株式会社

上場取引所 東

コード番号 4613 URL <https://www.kansai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 毛利 訓士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営推進部門長 (氏名) 富岡 崇

TEL 06-7178-5531

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無: 無

決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	145,397	6.6	15,114	24.9	19,924	17.4	11,873	△68.4
2024年3月期第1四半期	136,436	13.3	12,105	42.6	16,965	28.6	37,609	483.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 28,167百万円 (8.6%) 2024年3月期第1四半期 25,947百万円 (52.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第1四半期	円 銭 57.45	円 銭 48.82
2024年3月期第1四半期	164.67	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	782,689	388,177	39.9
2024年3月期	689,703	380,248	44.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 312,331百万円 2024年3月期 309,956百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	18.00	-	22.00	40.00
2025年3月期	-				
2025年3月期(予想)		22.00	-	22.00	44.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	610,000	8.5	56,000	8.5	60,000	4.0	40,000	△40.4	196.60

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更:有
新規 12社 (社名) Weilburger Coatings GmbH、Weilburger Asia Ltd. 他10社

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	210,421,470株	2024年3月期	210,421,470株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	8,390,511株	2024年3月期	1,769,631株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	206,684,150株	2024年3月期1Q	228,390,999株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー: 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当期における世界経済は、欧米を中心に金融引き締め継続、それに伴う大幅な為替変動に加えて、地政学リスクの高まりなどの影響により、依然として先行きは不透明な状況が続きました。このような状況下、中国においては、景気持ち直しの動きはみられるものの、不動産市場の停滞に伴う景気の下振れが懸念されています。欧州においては、金融引き締めなどにより需要の減速を受けて、インフレ圧力は緩やかに緩和されたものの、景気停滞の状況が続いています。その他の地域においては、景気は回復基調もしくは持ち直しの動きが見られました。わが国経済は、総じて景気は緩やかに回復していますが、長期金利の上昇、ウクライナ・中東情勢の問題及び為替の変動などにより、景気の先行きに注視が必要な状況が続きました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は1,453億97百万円（前年同期比6.6%増）となりました。営業利益は、固定費の増加があったものの、原価低減などの利益改善に取り組んだ結果、151億14百万円（前年同期比24.9%増）となりました。経常利益は持分法による投資利益の改善などにより、199億24百万円（前年同期比17.4%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年は、一過性の特別利益が計上されていたことにより、118億73百万円（前年同期比68.4%減）となりました。

このほか、2024年5月に、当社の連結子会社であるKansai Helios Coatings GmbHは、工業用塗料製造販売事業を担うWeilburgerグループ各社の株式を取得し子会社化しました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

《日本》

自動車分野では、販売価格の改善に取り組んだものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、自動車生産台数が前年を下回った影響もあり、売上高は前年を下回りました。工業分野、建築分野、自動車分野（補修用）及び防食分野では、市況低調などの影響により販売を拡大できず、トータルで売上高は前年並となりました。船舶分野では、外航船向け市況は好調に推移したことにより、売上高は前年を上回りました。利益は、一部の原材料価格が低下したことに加え、船舶の増収が寄与したことにより、前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は412億96百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益は59億75百万円（前年同期比54.4%増）となりました。

《インド》

建築分野では、販売促進活動を推進するものの、市場競争の激化や低価格品へのシフトも進み、現地通貨ベースでの売上高は前年を下回りました。一方、自動車生産台数の回復により自動車分野の売上高は前年を大幅に上回り、インド全体の売上高は、円安による為替換算の影響もあり前年を上回りました。利益は、一部の原材料価格を抑制してきたことに加え、販売価格の改善に継続して取り組んだことにより、前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は402億77百万円（前年同期比10.1%増）、セグメント利益は54億18百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

《欧州》

トルコでは、自動車販売台数は安定しており、販売価格の改善に取り組んだことにより、売上高は前年を上回りました。その他欧州各国においては、工業分野を中心に堅調な需要に支えられ、売上高は前年を上回った結果、欧州全体の売上高も前年を上回りました。利益はインフレ影響による人件費などのコストの増加はあったものの、原材料価格が安定して推移していることや、持分法による投資利益の改善により前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は336億1百万円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益は8億98百万円（前年同期比62.5%増）となりました。

《アジア》

中国においては、自動車生産台数は前年を上回ったものの主要顧客の需要は伸び悩み、売上高は前年を下回りました。タイ及びインドネシアにおいては、自動車生産台数が減少したことにより、売上高は前年を下回りました。マレーシアでは、自動車生産台数の回復により販売数量が増加したことにより、売上高は前年を上回りました。利益は、自動車分野の減収の影響を受け、前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は172億92百万円（前年同期比4.5%減）、セグメント利益は29億20百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国の経済は、継続的慢性的な電力不足やインフレ圧力による消費低迷の影響もあり、売上高は前年並となりました。一方、東アフリカ地域は、天候不順の影響があったものの、主力の建築分野の売上高は

堅調に推移しました。利益は、原価低減などコスト削減の取り組みなどにより、前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は102億26百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益は7億96百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

《その他》

北米では、自動車生産台数が前年を上回り、売上高は前年を大幅に上回りました。利益については、増収のほか、持分法による投資利益も増加したことなどにより、前年を大幅に上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は27億4百万円（前年同期比29.4%増）、セグメント利益は11億18百万円（前年同期比202.9%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、3,841億66百万円（前連結会計年度末比554億46百万円増）となりました。流動資産の増加は、受取手形、売掛金及び契約資産、現金及び預金、その他の流動資産、有価証券や原材料及び貯蔵品などが増加したことによるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、3,985億22百万円（前連結会計年度末比375億39百万円増）となりました。固定資産の増加は、主に有形固定資産及び無形固定資産などが増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、2,228億5百万円（前連結会計年度末比699億56百万円増）となりました。流動負債の増加は、主に未払法人税等が減少したものの、短期社債やその他の流動負債などが増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、1,717億6百万円（前連結会計年度末比151億1百万円増）となりました。固定負債の増加は、主に長期借入金やその他の固定負債などが増加したことによるものであります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,881億77百万円（前連結会計年度末比79億28百万円増）となりました。

なお、Weilburgerグループ各社の株式を取得し子会社化した影響が含まれており、これに伴い主に固定資産や長期借入金などが増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2024年5月10日発表の2025年3月期通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,587	90,595
受取手形、売掛金及び契約資産	113,202	136,094
有価証券	24,209	29,594
商品及び製品	56,765	59,204
仕掛品	8,917	9,669
原材料及び貯蔵品	38,641	43,130
その他	15,234	21,709
貸倒引当金	△4,838	△5,833
流動資産合計	328,720	384,166
固定資産		
有形固定資産	158,961	178,123
無形固定資産		
のれん	34,051	38,442
その他	32,109	43,832
無形固定資産合計	66,160	82,274
投資その他の資産		
投資有価証券	70,937	70,949
その他	70,502	72,889
貸倒引当金	△5,579	△5,714
投資その他の資産合計	135,860	138,124
固定資産合計	360,982	398,522
資産合計	689,703	782,689

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,707	92,050
短期借入金	9,653	11,957
短期社債	—	49,995
未払法人税等	17,571	6,615
賞与引当金	5,854	3,713
その他	33,062	58,472
流動負債合計	152,849	222,805
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	100,592	100,562
長期借入金	6,108	14,430
退職給付に係る負債	7,759	8,440
その他	42,145	48,272
固定負債合計	156,605	171,706
負債合計	309,455	394,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	19,953	19,953
利益剰余金	234,131	242,309
自己株式	△2,128	△19,648
株主資本合計	277,614	268,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,141	20,466
繰延ヘッジ損益	3	4
為替換算調整勘定	1,537	15,162
退職給付に係る調整累計額	8,659	8,424
その他の包括利益累計額合計	32,341	44,057
非支配株主持分	70,291	75,845
純資産合計	380,248	388,177
負債純資産合計	689,703	782,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	136,436	145,397
売上原価	96,005	98,557
売上総利益	40,430	46,839
販売費及び一般管理費	28,325	31,725
営業利益	12,105	15,114
営業外収益		
受取利息	136	339
受取配当金	923	351
持分法による投資利益	1,507	2,011
為替差益	3,002	2,832
雑収入	511	1,047
営業外収益合計	6,081	6,582
営業外費用		
支払利息	362	566
棚卸資産廃棄損	58	46
正味貨幣持高に係る損失	401	817
雑支出	398	343
営業外費用合計	1,221	1,773
経常利益	16,965	19,924
特別利益		
固定資産売却益	11,300	75
投資有価証券売却益	31,007	123
関係会社株式売却益	41	—
特別利益合計	42,349	198
特別損失		
固定資産除売却損	12	10
投資有価証券評価損	7	0
子会社清算損	22	—
早期割増退職金	8	4
特別損失合計	50	15
税金等調整前四半期純利益	59,264	20,107
法人税等	17,832	6,576
四半期純利益	41,431	13,531
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,822	1,657
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,609	11,873

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	41,431	13,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,787	△210
繰延ヘッジ損益	△4,326	1
為替換算調整勘定	5,718	13,120
退職給付に係る調整額	△147	△235
持分法適用会社に対する持分相当額	3,059	1,960
その他の包括利益合計	△15,483	14,636
四半期包括利益	25,947	28,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,541	23,589
非支配株主に係る四半期包括利益	6,405	4,578

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2024年5月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式6,620,000株の取得を行いました。これを含む自己株式取得等の結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が17,519百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が19,648百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	4,112百万円	4,547百万円
のれんの償却額	1,044	1,207

(セグメント情報の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	38,841	36,569	30,891	18,115	9,928	134,347	2,089	136,436	—	136,436
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	3,616	15	7	938	39	4,617	—	4,617	△4,617	—
計	42,458	36,585	30,899	19,053	9,967	138,964	2,089	141,053	△4,617	136,436
営業利益	3,390	4,882	878	2,219	697	12,068	37	12,105	0	12,105
持分法投資利益又は損失 (△)	479	△3	△325	1,029	△4	1,175	332	1,507	—	1,507
セグメント利益	3,869	4,879	552	3,248	693	13,244	369	13,613	0	13,613

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益に持分法による投資損益を加減した金額と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
 インド……インド、バングラデシュ、ネパール等
 欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等
 アジア……インドネシア、タイ、中国等
 アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	41,296	40,277	33,601	17,292	10,226	142,693	2,704	145,397	—	145,397
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	3,224	37	9	717	42	4,032	—	4,032	△4,032	—
計	44,521	40,315	33,610	18,010	10,268	146,726	2,704	149,430	△4,032	145,397
営業利益	5,537	5,457	904	1,904	758	14,563	553	15,116	△1	15,114
持分法投資利益又は損失 (△)	437	△38	△6	1,016	37	1,445	565	2,011	—	2,011
セグメント利益	5,975	5,418	898	2,920	796	16,009	1,118	17,127	△1	17,125

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益に持分法による投資損益を加減した金額と調整を行っております。
4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
インド……インド、バングラデシュ、ネパール等
欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等
アジア……インドネシア、タイ、中国等
アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等